

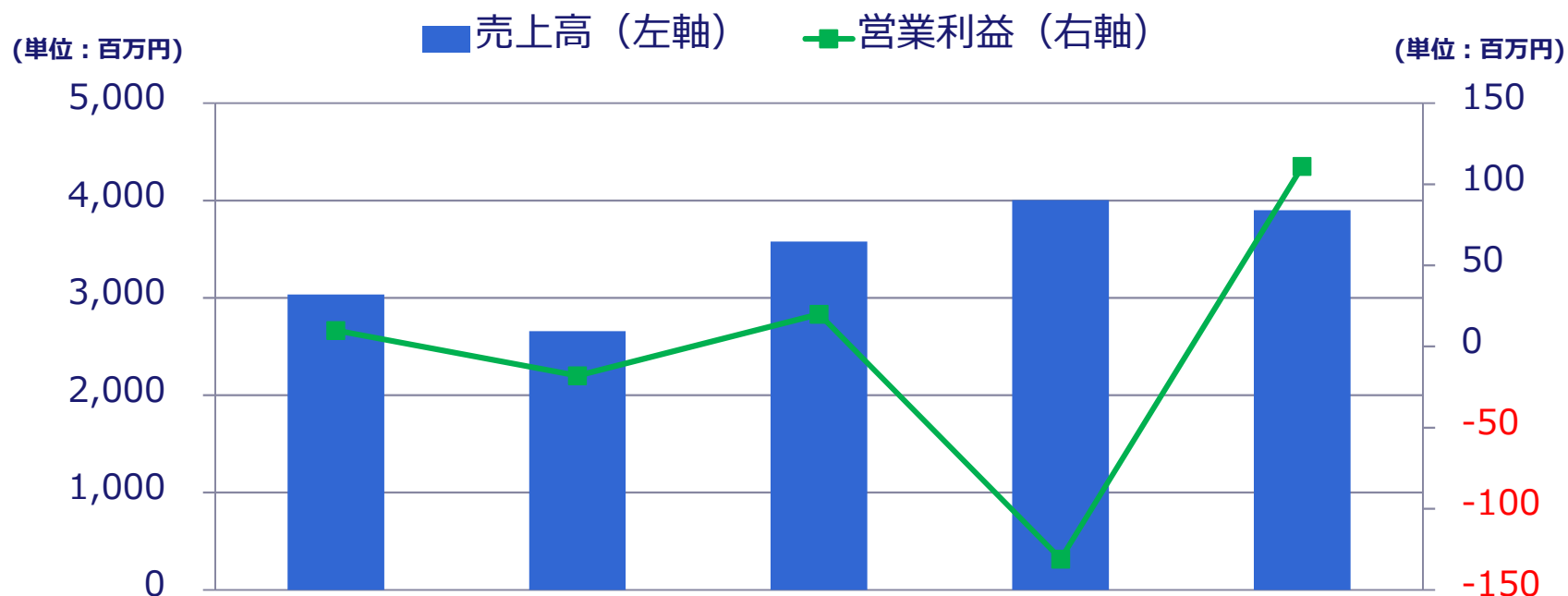
平成28年6月期（第25期） 決算ハイライト

2016年8月4日
アクモス株式会社

■ 連結 業績推移……………	2	■ 中期経営計画(2013/07-2016/06)…	10
■ 第25期 総括……………	3	■ 第25期の取り組み……………	11
■ 連結 売上高・営業利益推移……………	4	■ 第26期業績予想……………	16
■ 連結 キャッシュ・フロー推移……………	5	■ 株主還元……………	17
■ 連結 財政状態……………	6	■ 対処すべき課題……………	18
■ セグメント情報 ITソリューション事業…	7	■ 参考資料……………	19
■ セグメント情報 ITサービス事業……………	8	・アクモスグループ事業	
■ 営業利益 分析……………	9	・アクモスグループ一覧	
		・連結貸借対照表	
		・連結損益計算書	
		・連結 キャッシュ・フロー計算書	
		・単体貸借対照表	
		・単体損益計算書	

連結業績推移

- 売上高の増加に加え、利益率の高い消防通信指令システムのライセンス販売の貢献、収益性の改善に努めてきた結果等により黒字化



(単位：百万円)	21期	22期	23期	24期	25期
売上高	3,033	2,657	3,578	4,003	3,898
営業利益	10	▲18	20	▲131	111
経常利益	31	▲24	23	▲128	121
親会社株主に 帰属する当期純利益	16	▲12	▲9	▲298	113

中期経営計画（2013/07-2016/06）年度テーマ「創造」

■ 成長分野の取り込み

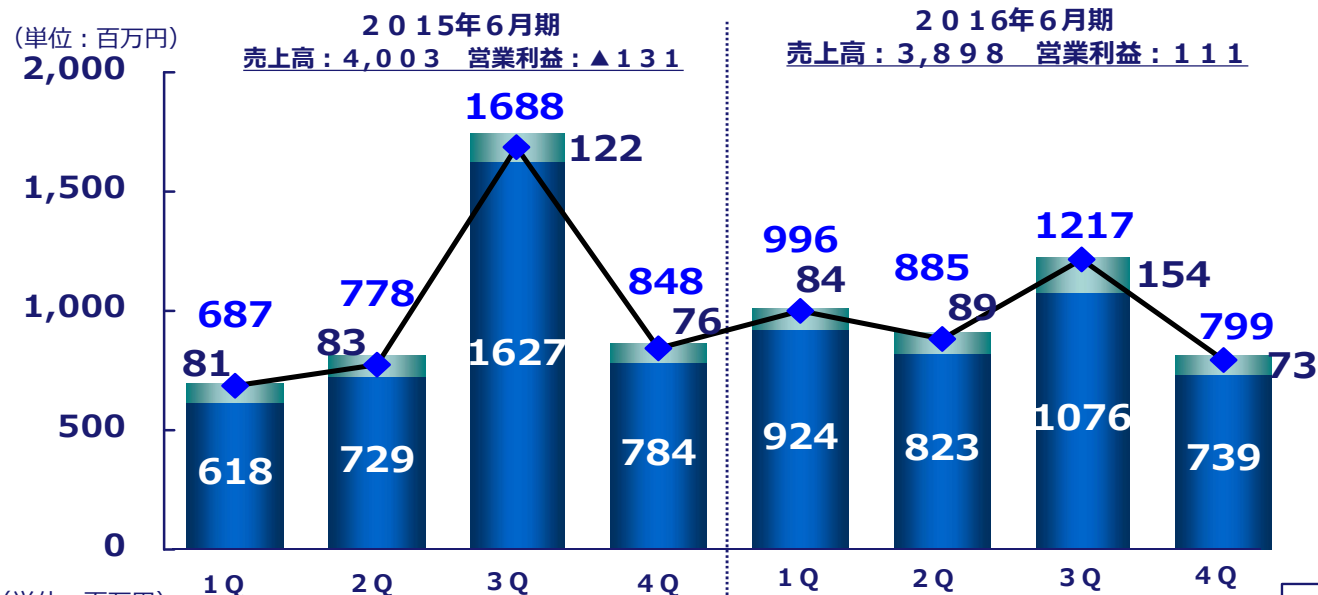
- ・ 2015年12月から従業員50名以上の事業所においてストレスチェック実施が義務化
⇒中小規模事業者向け「ストレスチェックパッケージサービス」を提供開始
- ・ 2016年1月よりマイナンバー制度の運用が開始
⇒マイナンバー管理クラウドサービス「**SYMPROBUS SecureNum**」を提供開始
- ・ 総務省のICT街づくり事業に関連する森林ICT案件への取り組み
- ・ 助成金を活用してスマートデバイスやUAV(無人航空機)を利用したシステムを試作開発

■ 既存事業の収益力強化

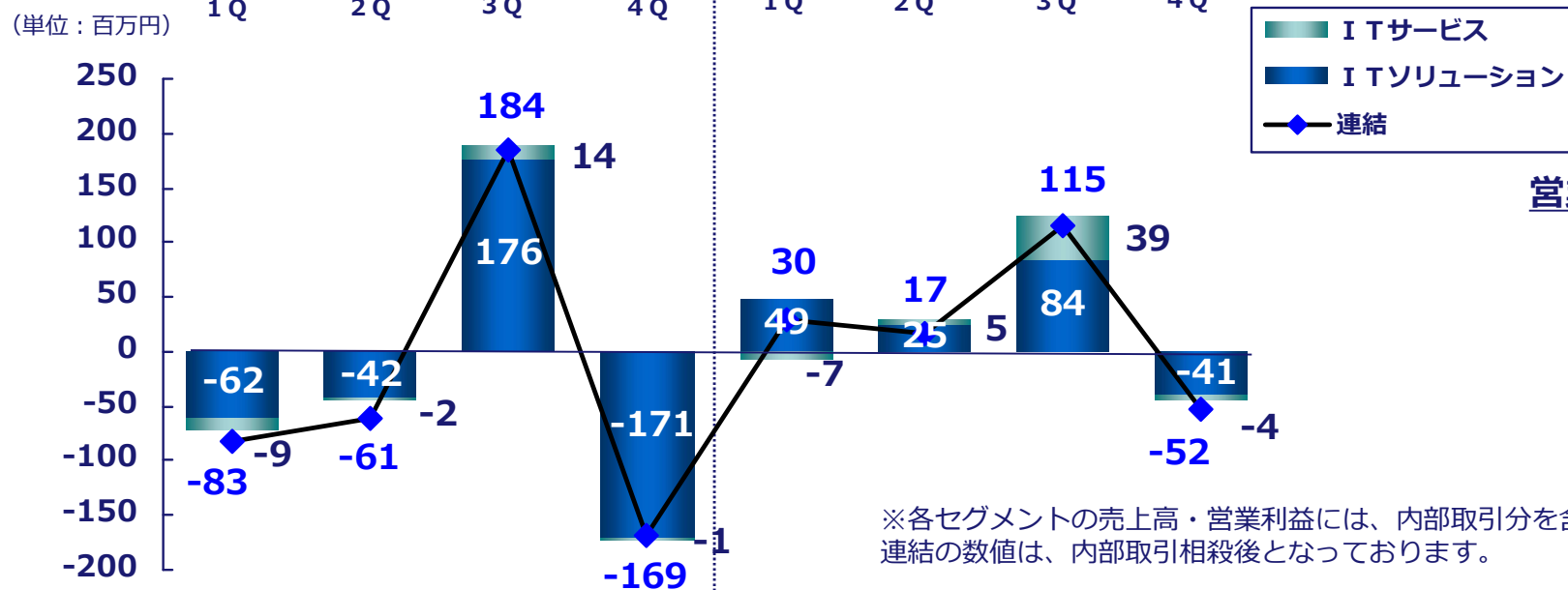
- ・ クラウドを活用した情報ネットワーク構築及びこれに伴うシステム機器の納品、
消防通信指令システムのライセンス販売2件が業績に貢献
- ・ 医療情報システム運用が新規受注と人材採用により順調に拡大
- ・ 部門別採算管理システムの導入を開始し、リーダー育成と収益力改善を図る

中期経営計画 I（2016/07-2018/06）、第26期へ

連結 売上高・営業利益推移



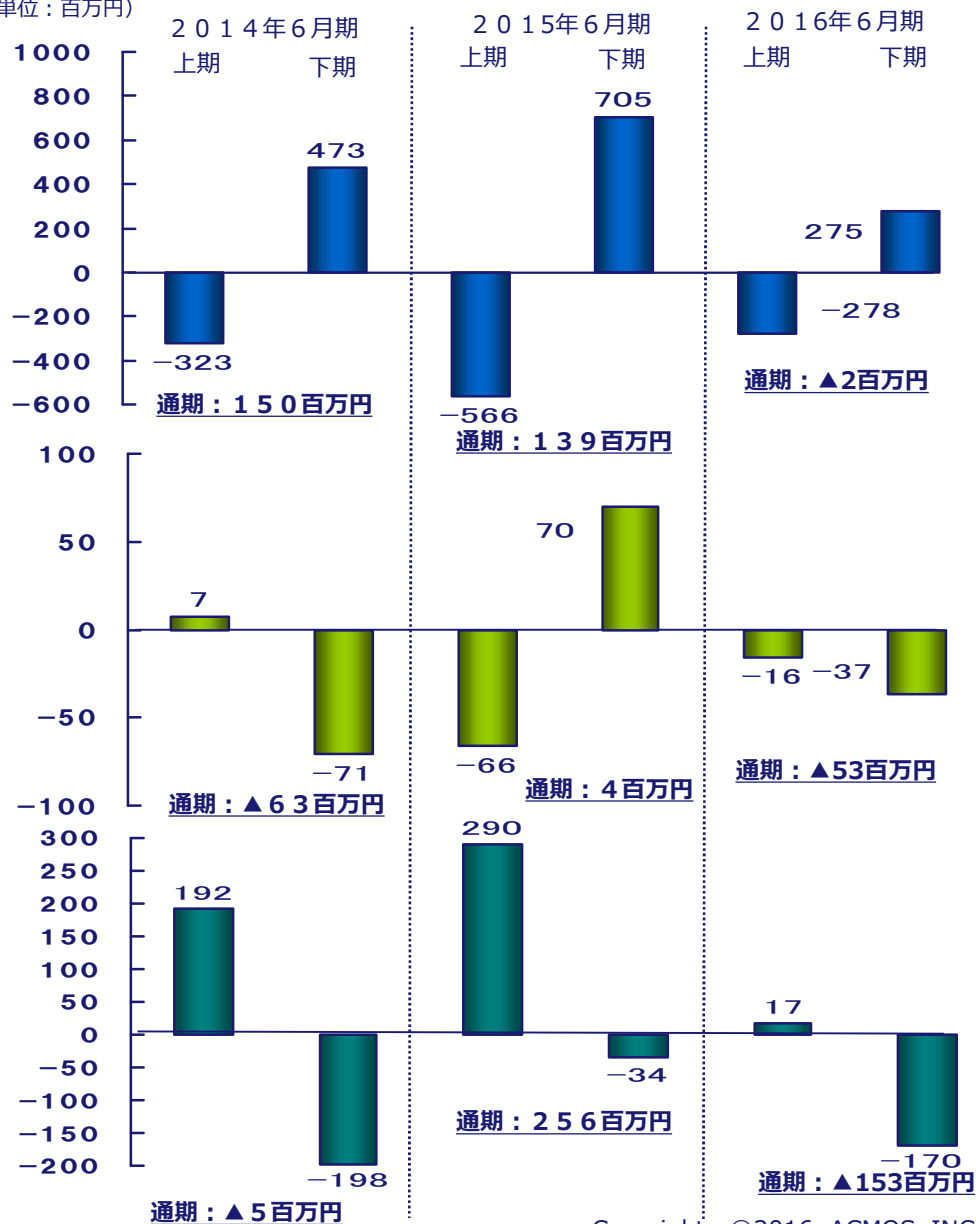
国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。



※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。連結の数値は、内部取引相殺後となっております。

連結 キャッシュ・フロー推移

(単位：百万円)



営業キャッシュ・フロー ▲2百万円

・税金等調整前当期純利益	122百万円
・減価償却費	56百万円
・のれん償却費	40百万円
・製品保証引当金の減少	▲114百万円
・棚卸資産の減少	68百万円
・仕入債務の減少	▲97百万円

ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。

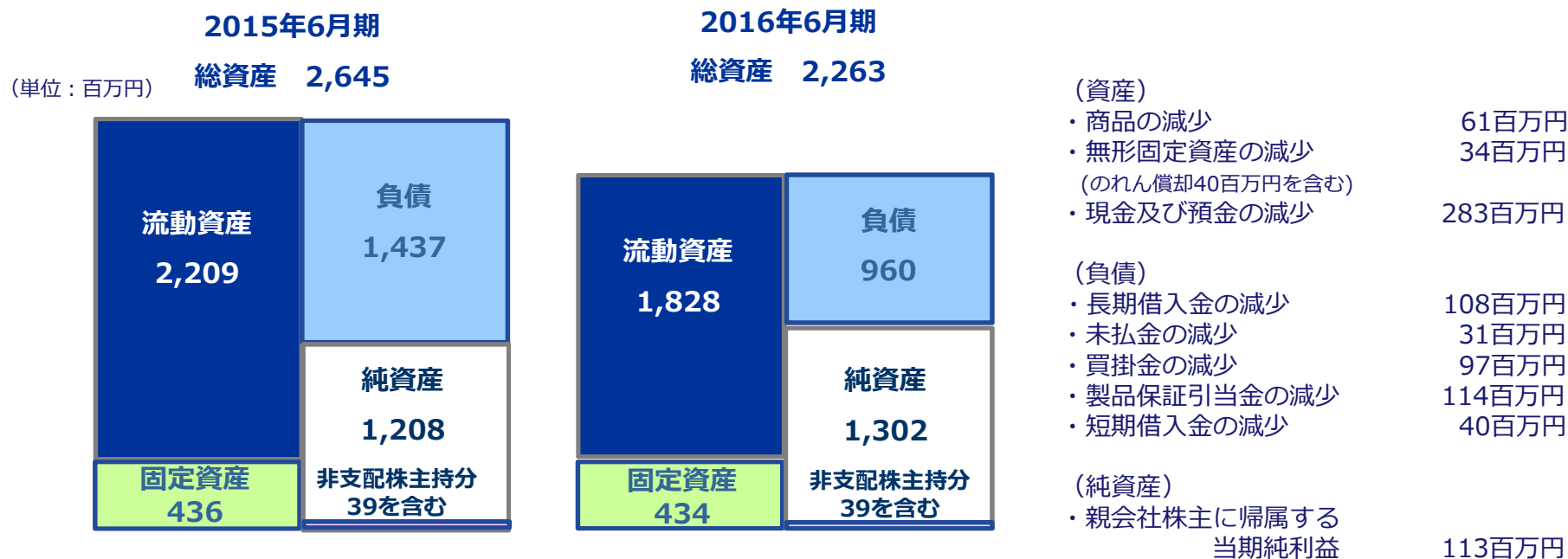
投資キャッシュ・フロー ▲53百万円

・有形固定資産の取得による支出	▲50百万円
-----------------	--------

財務キャッシュ・フロー ▲153百万円

・短期借入金の純減額	40百万円
・長期借入金の返済による支出	108百万円

➤ 総資産は前期比で減少するも、自己資本比率は55.8%

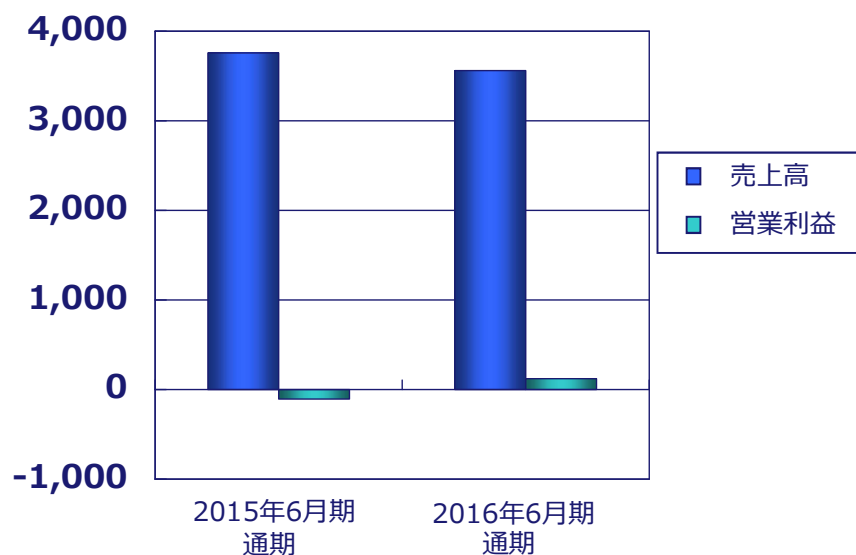


(単位：百万円)

	2015年6月期	2016年6月期	増減
設備投資 + 研究開発費	101	109	8
減価償却費	91	56	▲35
有利子負債	486	337	▲148

➤ 売上は減少したものの黒字化

(単位：百万円)



事業の概況

SI・システム開発

■アクモス株式会社（製造・公共系）

- ・消防通信指令システムのライセンス販売2件と公共系のクラウドを活用した情報ネットワーク構築案件の納品があったものの、消防通信指令システムの売上があった前期に比べて売上高は減少
- ・新規サービスの創出でマイナンバー管理クラウドサービスの開発を進め、2016年5月よりサービス提供開始

■ACMOSソーシングサービス株式会社（医療・製造系）

- ・企業向けシステム開発は、自動車メーカーを中心に順調に推移
- ・病院内情報システム運用は、人員増により新規案件を中心に稼働が増え、売上高増
- ・医療コンサルタント部を新設、病院内システム運用部門むけに営業活動

地図情報提供サービス

■ASロカス株式会社

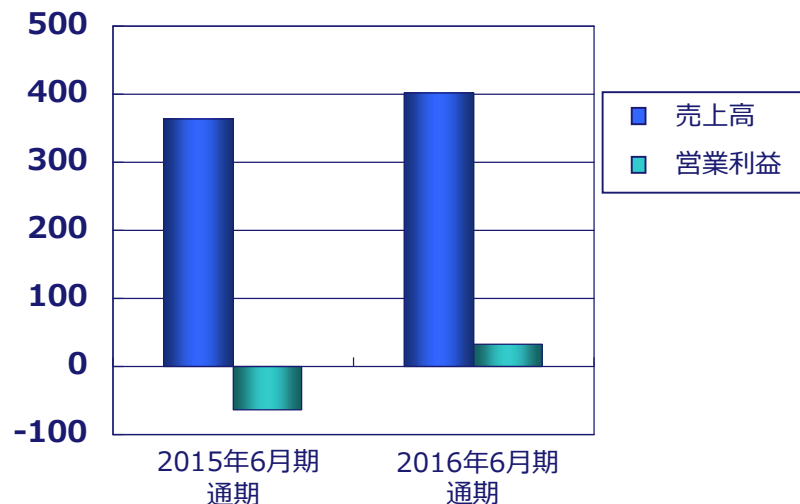
- ・国勢調査に伴う統計調査支援システム関連の売上のピークの経過・自社製ソフトウェアの販売が伸び悩み売上高は減少
- ・UAVを利用したがけ崩れ危険箇所監視システムは5月に研究報告完了

(単位：千円)

	2015年6月	2016年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	3,760,046	3,563,469	▲196,576	▲5.2%
外部	3,638,977	3,497,442	▲141,534	▲3.9%
内部	121,068	66,027	▲55,041	▲45.5%
営業利益	▲99,896	117,973	217,870	—

➤ BPOサービスの売上増加により収益改善

(単位：百万円)



事業の概況

情報処理サービス

■株式会社ジイズスタッフ

- ・民間企業のお客様満足度調査や国及び地方自治体の入札案件、選挙事務局代行等の大型案件に加えて、ストレスチェック等のEAP(※)関連案件が増加し、売上増加
- ・営業体制を強化し、市場拡大が見込まれるEAP関連業務の受注に注力

IT製品のテストニング

■株式会社エクスカル

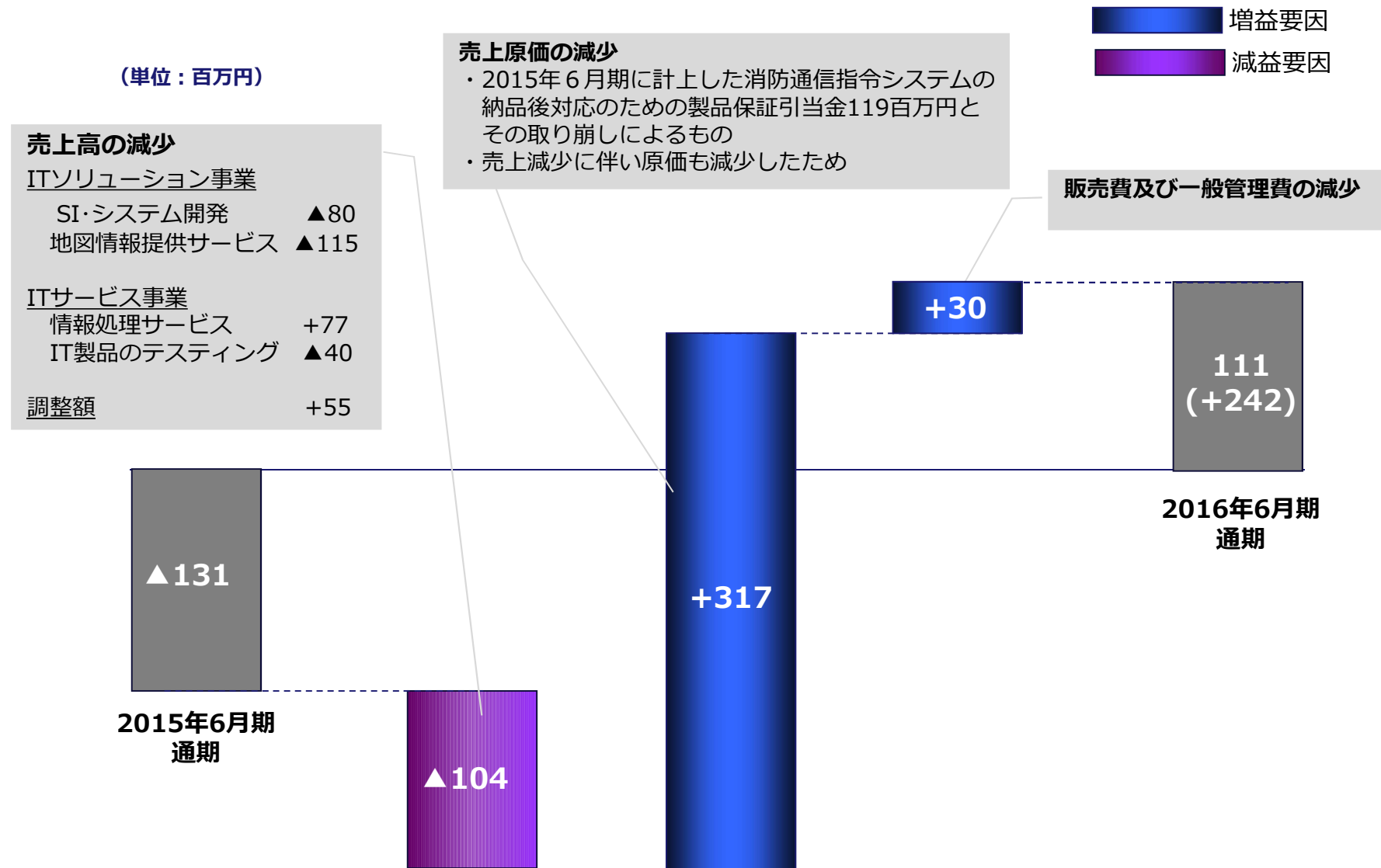
- ・2015年12月に一部事業を譲渡。現在の業務が完了した段階で事業停止予定。第2四半期末において連結の範囲から除外

※EAP(Employee Assistance Program：従業員支援プログラム)
…従業員と職場の生産性、効率の改善を目的とする支援サービス

(単位：千円)

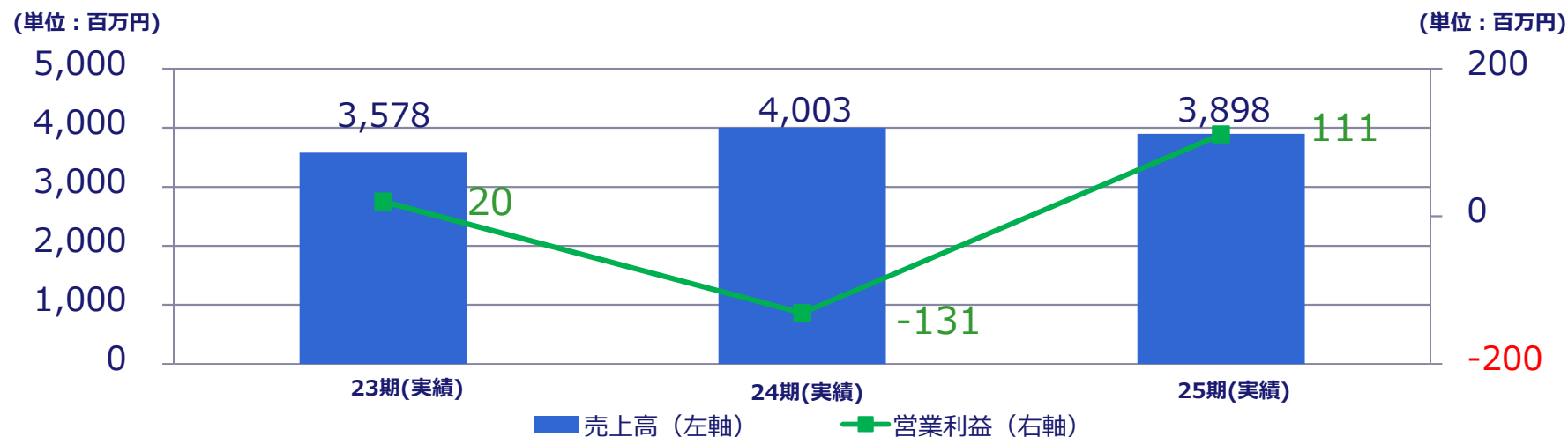
	2015年6月	2016年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	364,439	401,082	36,642	10.1%
外部	364,439	401,082	36,642	10.1%
内部	0	0	0	—
営業利益	▲63	33,229	33,293	—

営業利益分析



中期経営計画 (2013/07-2016/06)

アクモスグループでは、第23期からの3年間で“再生から成長、創造”への期間と位置づけ、サービス価値の向上を図り、持続的・創造的イノベーションを可能とする事業基盤を構築するとともに、安定収益の確保を目指してまいりました。



テーマ	基本方針
創造	<ul style="list-style-type: none"> 成長分野の取り込み 既存事業の収益力強化
	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な意思決定体制とリスクマネジメント ロードマップによる社員のステップアッププラン

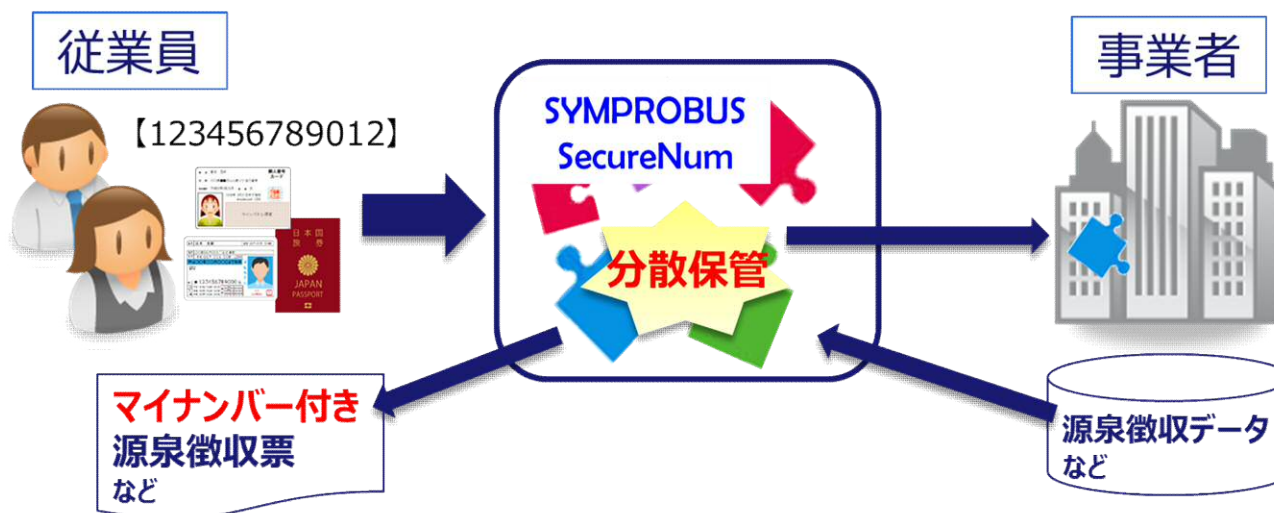
成長分野の取り込み

▶ マイナンバー管理クラウドサービス「SYMPROBUS SecureNum」

「SYMPROBUS SecureNum」 (シンプロバス セキュアナム)

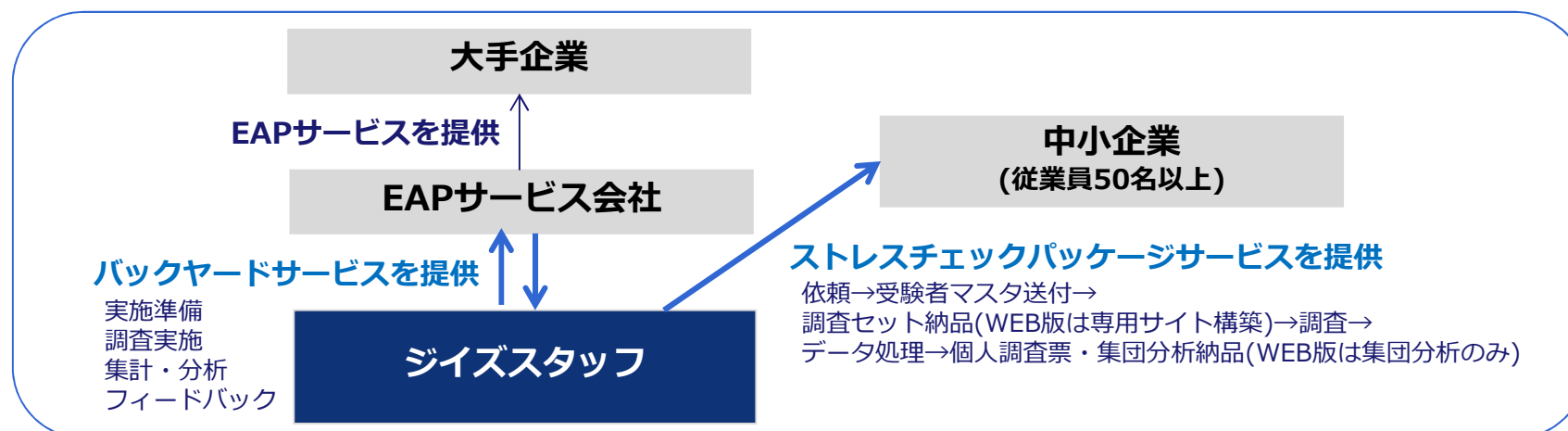
情報漏えい対策としてファイル秘密分散技術を用いた、セキュアなマイナンバー管理サービス。マイナンバー「取得」に向けた準備から「利用・提供」及び「保管・廃棄」まで、ITを活用して安全に対応します。

2016年3月から当社におけるマイナンバー関連業務での活用を開始し、2016年5月にサービスの提供を開始しました。セキュリティを重視している自治体や企業を対象に営業活動を推進しています。



成長分野の取り組み

- 情報処理サービス事業の株式会社ジイズスタッフ
ストレスチェック運用サポートサービス



※EAP : Employee Assistance Programの略。従業員支援プログラム。従業員と職場の生産性、効率の改善を目的とする支援サービス。
労働安全衛生法改正に伴い、2015年12月より従業員50名以上の事業所に対して全従業員へのストレスチェックの実施が義務化された。

2016年4月、中小規模事業者向けにストレスチェックパッケージサービスの提供を開始

- ・主流のWEB形式だけでなく、紙のマークシート形式での提供も可能
- ・10年以上にわたり、大手EAPサービス会社に提供してきたバックヤードサービスで培ったノウハウを活用
- ・質問票は厚生労働省版「職業性ストレス簡易調査票(57問)」に準拠し、ストレスチェックの義務化に対応

今後は安全なデータ保管、健康診断や属性データとのマッチングなどのカスタマイズサービスを展開予定

成長分野の取り組み

➤ 助成金を活用した試作開発プロジェクト

アクモス株式会社

スマートデバイスを利用したフィールド業務支援システム

「SYMPROBUS FIELD」(タブレットサービス)「SYPROBUS MOVE」(スマートフォンアプリ)

社外の現場で活動する従業員の業務を支援しながら、社内の管理者が現場の業務管理を行うことができるフィールド業務支援ソリューションです。

地図情報サービス事業のASロカス株式会社

UAV（無人航空機）を利用した、がけ崩れ危険個所監視システム

UAVを使用し、がけ崩れ危険個所の上空から定期的に撮影を行い、地表変化・標高変化等を検出して監視を行うシステムです。



東京情報大学(千葉市)の協力のもとに、UAVの飛行訓練や画像データの撮影を進めていましたが、2016年5月に研究成果を報告して完了しました。

以下の媒体で、この取り組みが紹介されました。

2015年12月 日経新聞(千葉版)

2016年 3月 読売新聞(千葉版)

2016年 6月 内閣官房 国土強靱化『民間の取組事例集 平成28年5月』

※無人航空機の名称については、助成金申請時に「UAV」を使用しております。

今後は試作品をベースに顧客へのヒアリングを行い、製品化や案件化の実現を模索していく予定

成長分野の取り組み

➤ 展示会への出展

『衛星測位技術展2015』

2015年9月30日から3日間、東京ビッグサイトで開催された『衛星測位技術展2015』にASロカス株式会社が出展し、アクモス株式会社もその一画で製品の紹介を行いました。

出展製品

ASロカス

- ・タブレット型災害時ルート検索システム
- ・UAVを利用したGIS事例
- ・配信型リアルタイム連動GISシステム
- ・防災関連GIS

アクモス

- ・フィールド業務支援モバイルサービス「SYMPROBUS MOVE」



『クラウドコンピューティングEXPO 2015秋』

2015年10月28日から3日間、東京ビッグサイトで開催された『クラウドコンピューティングEXPO秋』にアクモス株式会社が出展し、SYMPROBUS製品の紹介を行いました。

出展製品

- ・マイナンバー管理クラウドサービス「SYMPROBUS SecureNum」
- ・フィールド業務支援モバイルサービス「SYMPROBUS MOVE」



既存事業の収益力強化

➤ **大手通信事業者との協業で手掛けた、クラウドを活用した情報ネットワーク構築の公共案件を納品**

大手通信事業者との協業体制で地方公共団体から受注したクラウドを活用した情報ネットワークの構築案件について、前期から対応を続けてきましたが、納品が完了し、2015年9月1日より運用がスタートしました。

アクモスは、プライベートクラウドの新規構築と、100を超える機関を対象とした組織内ネットワークの設計・構築作業を行いました。

➤ **消防通信指令システムの納品後対応は、収束に注力するも、第26期まで一部継続**

消防通信指令システム開発案件の納品後対応は、第24期において当期発生する費用として製品保証引当金119百万円を計上しておりましたが、追加作業発生が見込まれたため第2四半期において製品保証引当金12百万円を追加計上しました。

納品後対応は第25期で終了する予定でしたが、第26期以降も一部継続する見通しとなったことから、期末において製品保証引当金4百万円を計上しています。

消防通信指令システムは、協業によるライセンス販売も進めています。



納品先 指令室

第26期 業績予想



第25期
決算ハイライト

連結 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2016年6月期	2017年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	3,898	4,000	2.6%
営業利益	111	120	7.4%
経常利益	121	130	7.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	100	▲12.0%
1株当たり当期純利益(円)	11.71	10.31	—

単体 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2016年6月期	2017年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	2,482	2,550	2.7%
経常利益	95	95	▲0.2%
当期純利益	106	90	▲15.5%
1株当たり当期純利益(円)	10.98	9.28	—

※ 2017年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

復配、安定配当を目指す

第25期の期末配当は、将来の事業拡大と企業体質強化のために内部留保が必要と判断し、誠に遺憾ではございますが、当初の予想どおり実施を見送らせていただきます。

第26期の期末配当予想は、1株当たり2円と復配を予定しております。

配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置づけ、利益配分に関する基本方針に基づき決定しております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・ 単体当期純利益に対する**配当性向30%**を目標に、連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う
- ・ 配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・ 財政基盤の強化に努める

いつも、どんなときも、安心・安全なITソリューション&ITサービスをお客様に提供するとともに、社員・家族が安心して業務に従事できる環境を整備してまいります

ITソリューション事業に関する課題

収益力向上を図り、安定的かつ持続的な配当を実現するため、以下の施策を実行してまいります。

アクモス株式会社

- ・長期ビジョン及び中期経営計画において注力する事業分野を情報セキュリティ事業とし、セキュリティ案件への積極的な取り組みと、情報セキュリティ人材の育成、セキュリティ関連資格の取得促進に取り組んでまいります。
- ・高付加価値のセキュリティ関連事業を生み出すため、役割・責任を明確にした機能別組織とし、全員参加型のマネジメントシステム(A-WING)を活用して付加価値の向上を実現してまいります。

ASロカス株式会社

- ・厳しい事業環境のもと、開発・運用・企画のビジネスサイクルを継続的に展開し、品質向上と収益力の向上を目指します。
- ・クラウドGIS運用やIDCサービスなどデータセンター上の展開を図り、新サービスの提供を行います。
- ・プロジェクトマネジメントの継続的改善を推進し、プロジェクト管理の可視化により不採算案件の防止を行います。

ACMOSソーシングサービス株式会社

- ・良質な人材の確保と品質の向上が課題となっております。開発分野では、対象を自動車業界に絞り人材を集中させ自社の得意分野へと育成し、医療分野では、人材確保・育成を進めつつ、シェア拡大と品質向上を図ります。
- ・医療コンサルティング事業部は実績を積み、他社との差別化を図ってまいります。
- ・SI分野ではアクモスと連携し、医療分野におけるセキュリティ基盤の構築へ集中し付加価値を高めてまいります。

ITサービス事業に関する課題

株式会社ジイズスタッフ

- ・マークシートの印刷・読取・集計、データエントリーなどお客様の業務の一部を下請けして代行する業務が多く、付加価値を高めることが課題となっております。
- ・健康、教育分野をターゲットにワンストップサービスを提供できる体制を整え、お客様に業務提案やコンサルティングを行う付加価値の高い業務構造へ変革してまいります。

リスクマネジメントに関する課題

- ・社会インフラや行政サービスを支えるIT企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めます。
- ・社員その家族が安心して業務に従事できる環境の整備を、より一層進めてまいります。



<参考資料>

アクモス株式会社

- ・ 消防通信指令システム
- ・ CTI
- ・ GIS
- ・ スマートデバイス

- ・ IT基盤設計・構築
 - ・ SI・ソフトウェア開発
 - ・ システム運用・保守
- 公共
産業・製造系企業
医療機関など

ACMOSソーシングサービス株式会社

- ・ 病院システム運用開発
- ・ 業務系、基幹系システム開発
- ・ ヘルプデスク

株式会社ジイズスタッフ

- ・ 情報処理サービス
- ・ BPOサービス

ASロカス株式会社

- ・ 業務系アプリケーション開発
- ・ 地図情報提供サービス

- ◆ 単体ITソリューション群
- ITソリューショングループ企業
- ITサービスグループ企業

アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 URL : <http://www.acmos.co.jp>
お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp
主要取引先 茨城県、KDDI株式会社、官公庁、株式会社常陽銀行、東日本電信電話株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社 他



ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334 URL : <http://www.acmos-ss.jp>
お問合せ先 info@acmos-ss.jp
主要取引先 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、東京医科大学病院 他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134 URL : <http://www.gstf.jp/>
お問合せ先 inquiry@gstf.jp
主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円
所在地 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1
TEL : 0436-24-0374 FAX : 0436-24-2116 URL : <http://www.as-locus.jp/>
お問合せ先 sales@as-locus.jp
主要取引先 株式会社昭文社、一般財団法人消防防災総合センター、株式会社NTT東日本-千葉、八王子市他官公庁 他



2016年6月末現在

連結貸借対照表(要約)



第25期
決算ハイライト

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,539,675	1,256,017	買掛金	207,312	109,905
受取手形及び売掛金	486,443	467,237	長期借入金(1年内)※1	426,714	337,781
たな卸資産	115,493	46,042	未払金	149,752	118,032
その他	68,201	59,593	未払費用	268,787	259,523
流動資産合計	2,209,814	1,828,891	製品保証引当金	119,587	5,373
有形固定資産	205,411	225,468	その他	124,960	85,754
無形固定資産	118,346	83,379	流動負債合計	1,297,114	916,370
投資その他の資産	112,303	125,632	長期借入金	59,411	0
固定資産合計	436,060	434,480	その他	80,846	44,418
			固定負債合計	140,257	44,418
			負債合計	1,437,371	960,789
			純資産の部		
			株主資本合計	1,157,864	1,262,210
			その他の包括利益 累計額合計	11,190	541
			非支配株主持分 ※2	39,449	39,830
			純資産合計	1,208,503	1,302,582
資産合計	2,645,875	2,263,371	負債純資産合計	2,645,875	2,263,371

※1 短期借入金を前期末に368,370千円、当期末に328,370千円含んでおります。

※2 連結子会社ASロカス株式会社は、株式会社昭文社が株式の19%を所有しております。

連結損益計算書(要約)



第25期
決算ハイライト

(単位：千円)

	2015年6月期	2016年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	4,003,417	3,898,525	▲104,891	▲2.6%
売上原価	3,087,582	2,770,467	▲317,114	▲10.3%
売上総利益	915,835	1,128,058	212,222	23.2%
販売費及び一般管理費	1,046,965	1,016,275	▲30,689	▲2.9%
営業利益	▲131,130	111,782	242,912	—
営業外損益	2,390	9,759	7,368	—
経常利益	▲128,739	121,542	250,281	—
特別損益	▲117,017	708	117,725	—
税金等調整前 当期純利益	▲245,756	122,250	368,006	—
法人税等	44,701	6,889	▲37,811	▲84.6%
非支配株主に帰属する 当期純利益	8,154	1,768	▲6,386	▲78.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲298,612	113,592	412,204	—

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)



第25期
決算ハイライト

(単位：千円)

	2015年6月期	2016年6月期	増減	
	期末	期末		
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,028	▲2,817	▲141,846	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,046	▲53,636	▲57,682	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,021	▲153,344	▲409,365	－
現金及び現金同等物の増減額	399,096	※ ▲209,798	▲608,894	－
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,179	1,476,275	399,096	37.1%
現金及び現金同等物の期末残高	1,476,275	1,202,611	▲273,664	▲18.5%

※第2四半期末に株式会社エクスカルを連結範囲から除外したことに伴う減少額▲63,866千円が含まれております。

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	937,065	822,789	買掛金	131,041	60,168
受取手形及び売掛金	348,171	340,362	長期借入金(1年内) ※1	345,000	290,000
たな卸資産	79,760	17,297	未払費用	176,256	177,434
その他	51,197	51,050	賞与引当金	11,677	11,526
流動資産合計	1,416,194	1,231,500	製品保証引当金	117,548	4,774
有形固定資産	167,288	171,547	その他	144,544	131,659
無形固定資産	22,726	24,481	流動負債合計	926,067	675,563
投資その他の資産	569,798	538,496	長期借入金	50,000	0
固定資産合計	759,812	734,525	その他	5,526	239
			固定負債合計	55,526	239
			負債合計	981,593	675,802
			純資産の部		
			株主資本合計 ※2	1,183,222	1,289,683
			評価・換算差額等合計	11,190	541
			純資産合計	1,194,413	1,290,224
資産合計	2,176,006	1,966,026	負債純資産合計	2,176,006	1,966,026

※1 短期借入金を前期末330,000千円、当期末290,000千円含んでおります。

※2 前期末、当期末ともに、自己株式▲53,911千円を含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2015年6月期	2016年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	2,678,948	2,482,689	▲196,259	▲7.3%
営業利益	▲175,000	74,092	249,092	—
経常利益	▲162,259	95,231	257,490	—
当期純利益	▲281,464	106,460	387,924	—

■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画管理部 TEL : 03 - 5217 - 3123